

コード No. 10375

**Anti-Human
SP-A (PE10) Mouse IgG MoAb**

容量 : 500 µg

はじめに : 肺サーファクタントはⅡ型肺胞上皮細胞で産生され、肺胞腔へ分泌されるリポタンパク複合体です。その主要な構成タンパクであるサーファクタント(アポ)プロテイン A (SP-A)は、還元処理した状態で分子量 35kDa の糖タンパク質であり、有用な肺腺がんの免疫組織化学的マーカーです。
PE10 抗体の反応性は、正常のⅡ型肺細胞と肺胞マクロファージは細胞質に SP-A 陽性を示し、一方、Ⅰ型肺細胞、気管支表層の上皮細胞および気管支腺細胞では反応しません。SP-A に対する免疫反応は過形成のⅡ型肺細胞にも見られ、正常のⅡ型肺細胞よりも過形成のⅡ型肺細胞でより強く見られます。初期の肺腺がんにおいて、SP-A は組織学的分化の段階により分類された種々の腺がんと同様に発現が見られます。

免疫抗原 : 精製 Surfactant apoprotein A

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ

クローン名 : PE10 サブクラス : IgG2b

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 約 100 倍希釈(約 5 µg/mL)にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片 : 加熱処理による抗原賦活で染色性が向上します)

- 文献 : 1. Shijubo N, Honda Y, Fujishima T, Takahashi H, Kodama T, Kuroki Y, Akino T, Abe S. Lung surfactant protein-A and carcinoembryonic antigen in pleural effusions due to lung adenocarcinoma and malignant mesothelioma. Eur Respir J. 1995 Mar;8(3):403-6.
2. Murakami S, Iwaki D, Mitsuzawa H, Sano H, Takahashi H, Voelker DR, Akino T, Kuroki Y. Surfactant protein A inhibits peptidoglycan-induced tumor necrosis factor- α secretion in U937 cells and alveolar macrophages by direct interaction with toll-like receptor 2. J Biol Chem. 2002 Mar 1;277(9):6830-7.
3. 水谷保幸 「肺腫瘍における肺表面活性物質アポ蛋白(SP-A)の発現に関する臨床病理学的解析」 札幌医誌 59(4)345-356, 1990
4. 薦原紳、本田泰人、黒木由夫「びまん性肺疾患及び原発性肺腺癌患者血清における抗 SP-A 単クローン抗体反応物質の測定とその臨床的意義」札幌医誌 60(1)43-53, 1991
5. 本田孝行 「Ⅱ型肺胞上皮細胞」信州医誌 47(6):481-488, 1999